立川市体協だより

スポーツたちかわ

No.84 平成23年(2011)1月1日

NPO法人
立川市体育協会
〒190-0015 立川市泉町786-11
立川市泉市民体育館内
TEL･FAX 534-1483
発行責任者 河内勝正
編集責任者 木戸口辰雄
e-mail t-taikyo@amber.plala.or.jp

立川市新庁舎落成記念

新庁舎を中心に、新春を若人達が走り抜く

開催日 23年1月16日（日）（市民駅伝＆小学生ロードレース）

新年のご挨拶

立川市長 清水庄平

新年明けましておめでとうございます。

貴会会員の皆様には、日頃から本市の体育行政に深いご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨今、スポーツに対する人々の関心はますます高くなっております。

貴協会のご尽力で、永年多摩川河川敷で行なわれていた駅伝が、庁舎移転を機に「新庁舎周辺地区」での開催を実現して頂きました。広く市民が参加できる大きな新年プレゼントになりました。

多くの人が様々なスポーツを親しむことにより、健康づくりを進めながら交流を深め、仲間の輪を広げることは、健康でいきいきとした生活を送る上で非常に大切なことであります。

適度な運動は健康に良いことですが、継続のためには、その取り巻く環境が重要と言えます。日頃より、市内の各地域で体育振興にご尽力いただいている、貴会の活動は市民スポーツにとって欠かせないものであります。

今後も、貴会会員の皆様のより一層のご支援を切にお願いする次第であります。

結びに本年も貴会の皆様のご健勝とご活躍、そして多くの市民の方がスポーツを楽しめることを祈念いたしまして、私の新年の挨拶といたします。

年頭にあたって

特定非営利活動法人 立川市体育協会
会長 河内勝正

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から体協の事業活動に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、スポーツ分野では、サッカーワールドカップ(南アフリカ大会)での日本代表の躍進や大リーグマリナーズのイチロー選手の10年連続200本安打、アジア大会での日本選手の活躍等私たちに大きな感動と誇り、勇気を与えてくれた出来事がありました。

一方、体協事業におきましては、本年度計画の一環である地域小中学校との融和として第64回市民体育大会開会式での第二小学校吹奏楽(初の小学生による演奏参加)並びにスポレクフェスタ開会式での立川第六中学校和太鼓クラブのご出演を実現することができました。各校長を始めとした学校関係者の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

また、市民体育大会事業も、皆様のご支援、ご協力を賜り、残すところ、1月16日開催の駅伝競走＆小学生ロードレースのみとなりました。

この大会は、これまで、多摩川ジョギングコースで寒風吹き付ける中、しかも観客ほぼゼロの状況で行ってまいりましたが、この度、行政、立川警察署等のご理解とご尽力で、数十年ぶりに新庁舎を起点とした箱根駅伝予選会コースの一部を使用した市中コースで開催できることになりました。多くの市民に、一生懸命走る子供達等の雄姿を見ていただけるものと期待するとともに感謝の念にたえません。市民体育大会が目的としている「広く市民の間にスポーツを普及しスポーツ精神を高揚して市民の健康増進と向上を図り、市民生活を明るく豊かにする」に必ずや繋がるものと確信しております。

本年は、これまでの体協事業とともにスポーツ祭東京２０１３に向けた立川市実行委員会活動をも含め、更なるご支援、ご協力を皆様にお願いすることになるものと存じますが、これまで同様ご厚情賜りますようお願い申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

第3回 救命講習会

10月16日(土)午前9時より、泉市民体育館研修室において、東京消防庁立川消防署の講師・指導者の方々に来ていただき、今年で、3年継続している講習会を開催した。

参加者の中に緊急救命を体験された佐藤耕司氏(ソフトテニス連盟)から多くの方が救命処置の講習を受け心肺蘇生とAEDの扱い方を習得しておくべきと話があった。

講師から救命に関わる事例など様々な紹介があり、その後、講義の後、講習に参加された30名を8班に編成して人形をモデルに周囲の安全確認、声かけ、呼吸の確認、人工呼吸と胸骨圧迫、AEDの使い方、また、併せて感染症の予防に十分に注意をしなければならないと指導を受けた。

銃所持者の皆様へ

立川市クレー射撃協会

立川市にクレー射撃協会があるのをご存知ですか？
市内に在住の方なら、どなた様でもすぐ入会出来ます。

★毎年、5～6回の月例射撃会を開催しております。
★都民体育大会、市町村体育等にも参加し選手を派遣しています。
★日本クレー射撃協会はへの公式戦に当協会からアシストしています。

■入会金　￥1,000
　年会費　￥5,000

事務局
㈱三進小銃器製作所立川店内
TEL 042-522-3457

第64回 市民体育大会

地区対抗種目得点表

種目 ＼ 地区名		富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川地区体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球		5.5	3.0	8.0	3.0	5.5	3.0	5.5	9.0	10.0	5.5	11.0	3.0
ミニテニス		7.0	3.0	10.0	3.0	8.0	9.0	4.0	3.0	11.0	5.0	6.0	3.0
ソフトボール	男子	8.0	3.0	3.0	5.5	3.0	9.0	3.0	11.0	5.5	10.0	5.5	5.5
	女子	3.0	3.0	3.0	5.5	5.5	9.0	5.5	3.0	11.0	8.0	5.5	10.0
水泳	男子	8.0	3.0	10.0	6.0	3.0	4.0	11.0	3.0	7.0	5.0	9.0	3.0
	女子	4.0	3.0	10.0	3.0	8.0	5.0	11.0	3.0	9.0	6.0	7.0	3.0
ゲートボール		3.0	10.0	6.0	9.0	4.0	3.0	8.0	5.0	3.0	7.0	11.0	3.0
陸上競技	男子	3.0	8.0	11.0	3.0	7.0	9.0	4.0	3.0	10.0	3.0	5.0	6.0
	女子	7.0	6.0	10.0	－	4.0	8.0	3.0	3.0	11.0	3.0	5.0	9.0
バレーボール	男子	8.0	3.0	11.0	3.0	5.5	5.5	10.0	9.0	3.0	5.5	5.5	3.0
	女子	9.0	8.0	11.0	－	3.0	3.0	10.0	5.5	3.0	5.5	5.5	5.5
テニス		9.0	5.0	7.0	3.0	4.0	6.0	3.0	8.0	10.0	3.0	11.0	3.0
卓球		3.0	6.0	5.0	3.0	7.0	3.0	11.0	8.0	4.0	10.0	3.0	9.0
バドミントン	男子	9.0	3.0	7.0	3.0	6.0	4.0	10.0	5.0	8.0	－	11.0	3.0
	女子	9.0	3.0	8.0	3.0	3.0	7.0	11.0	4.0	3.0	5.0	10.0	6.0
駅伝													
合計得点		95.5	70.0	120.0	53.0	76.5	87.5	110.0	82.5	108.5	81.5	111.0	75.0
順位													

全国大会で立川キッズダンスクラブ『金賞』受賞！

立川市ダンス連盟
稲田　義四千

10月24日（日）東京体育館で開催された第30回三笠宮杯全国ダンススポーツ選手権大会・第7回全国子どもダンス運動大会で金賞を受賞しました。

5年前に錦学習館で始まったキッズクラブ活動が4回出場で、2回金賞と素晴らしい成績です。子ども達も熱心に練習に励んで居りますが、良いコーチャーに恵まれた結果だと思います。

ダンススポーツは男女ペアで踊るのが基本ですが、男の子の参加が少なく仕方なく女子カップルでの組合せです。11月14日の市民大会では、市民の皆さんに金賞の踊りを観ていただきました。

今一つのご報告があります。子ども達のリーダーでもある川崎博之・山田美紅組は11月28日開催の神奈川県の大会でもB級戦（個人戦）に出場し優勝最高のA級に昇級しました。クラブでは新しい仲間を募集して居ります、ジュニアの皆さん是非参加して下さい。

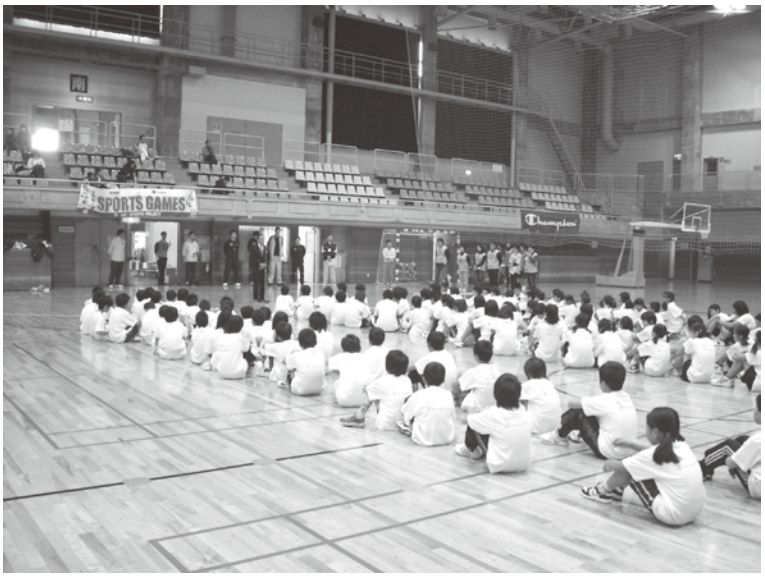
第3回　スポーツゲームズin立川＆東京ヴェルディ

今年で３回目となる「スポーツゲームズin立川＆東京ヴェルディ」を11月６日（土）に、泉市民体育館と泉野球場を会場にして開催しました。このイベントはNPO法人MIPスポーツプロジェクトと東京ヴェルディが主催し、NPO法人立川市体育協会が後援しているものです。今回は、幼児、小学生、大人の方あわせて２００人以上の参加がありました。

普段なかなか体験できない複数の種目を体験する「チャレンジスポーツラリー」には、小学３年生から６年生まで、１２０人以上が参加し、「バスッケトボール」、「ハンドボール」、「サッカー」の３種目をトップアスリートの指導により楽しく体験することができました。

また、５・６歳児の親子と小学１・２年の親子が参加する「親子コーディー」には定員を超える多くの方からの申し込みがありました。このプログラムは遊びの動きから運動神経を伸ばすための様々な動きを経験することと、親子で身体を動かすことの楽しさを体験することを目的としたものです。この親子コーディーには年々参加希望者が増えてきています。

毎回このイベントの開催にあたりましてはNPO法人立川市体育協会の皆様に多大なるご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。



スポーツ振興課
スポーツ振興係長
前村　雅和

平成22年度 ジュニアスポーツ育成地域推進事業

ジュニア育成 新体操実技講習会

新体操連盟　坂下　香澄

平成22年8月22日(日)10時より、立川第三中学校体育館において、平成22年度ジュニア育成地域推進事業として、ジュニア育成新体操実技講習会を行ないました。

参加人数は53名。(小学生28名、中学生24名、高校生1名) 指導は、シドニー・北京オリンピックで新体操団体のヘッドコーチである五明みさ子さん。立川市新体操連盟の会長でもあります。

参加者は、基礎運動に加え、演技を個別に点検、指導を受けました。

10時～開講式　合同基礎運動 (筋トレ・柔軟・基本運動・手具運動)

12時～昼休憩

13時～演技作品のチェック、作品評価、申告書点検、閉講式もって終了。(15時)

暑さ対策のため扇風機をレンタルで用意をしましたが、それでもサウナのような暑さと熱気の中、参加した子どもたちは、「スポーツ祭東京２０１３」に向け、元オリンピックコーチから直接指導を受けるという貴重な体験ができ、競技に対する意欲を高めている様子でした。基礎運動から演技作品までの指導により、具体的な日々の練習の参考となり、励みとなりました。

ジュニア育成助成事業として助成を受けることによって、新体操用のマットを、すべての子どもたちが、体験できたことも、競技に対する意欲の向上につながりました。運営者として、講習の環境をより良く整えることができ、怪我もなく終了できましたことに、関係者の皆様に感謝申し上げます。

この講習会で学んだことを活かして、「スポーツ祭東京２０１３」の選手が生まれることを願っています。

水泳協会　合宿

水泳協会　倉本　和貴

この近年よりよい環境、設備を求め年々とても恵まれた条件での合宿がベストな状態で行えています。

今年はさらに今までとは環境、設備を一転し、ホテルを利用しての合宿を行いました。

今回の合宿で得られて成果は、まず設備の面で水温、室温、水深がちょうどいい設備だった為、いつもの合宿より長い距離、時間を泳ぐ事が出来ました。

またそれに伴い、細かい部分の練習も同時に出来た為、子供達それぞれに泳形などに大きな変化が見られました。

より奇麗に泳ぐ事に集中したため、奇麗な泳形で泳ぐ事によって、安定したフォームを維持しスピードアップにもつながる効果が出てきました。

こうした設備だけではなく食事面でもホテルという施設、サービス、質が食事なのでも体験でき、質量ともに子供達も大満足でした。また食事を全員で楽しみおいしいと食べてくれ、会話もはずんでいたので、今までになく食事時間が長かったです。

しっかりした食事をきちんと食べることにより、練習時のスタミナ切れにもなりにくく、より参加者一人一人が周りとの競争意識が高まったことで、水泳という個人競技のなかからチームプレー、仲間と意識しての練習が身について合宿だったと思います。

子供達全員、次回も同じところで練習がしたいと希望しています。今年初めてだったのが、一人も体調が悪くならなった事がとてもよかったです。

環境、設備、条件一つでこんなにも変わるんだと実感しました。

是非来年も同じ環境で開催出来ればと願っております。

陸上競技教室と記録会

陸上競技協会　飯塚　智子

平成18年度よりスタートしたこの事業ですが、今年も4月から10月中旬までの、7ヶ月間　毎週日曜日の午前10時～12時まで、立川公園市営陸上競技場で陸上競技教室を実施しました。

小学4年生以上を対象に広い年代に渡り、初心者は、「体力作り」と「走りの基本」に重点を置き、ベテランは、「走る・跳ぶ・投げる」といった各種目の充実をはかり、お互い教えたり、励ましたりしながら、交流をもち、トレーニングに励みました。

また今年は例年にない猛暑でしたので、夏の間は、水分補給と休憩をこまめに取り、熱中症に注意しながらの教室になりました。

そしてその成果が10月24日(日)に開催した記録会での新記録や自己記録の更新といった結果に繋がったと思います。

今年度まで対象が立川市内在住・在学・在クラブでしたが、市外の方からの参加希望も増えていますので、陸上競技者の底辺拡大の為にも、もう少し広げていきたいとも考えています。

バスケットボール協会 立川市出身の選手が活躍する高校トップチーム交流

バスケットボール協会　岩﨑　有美

「スポーツ祭東京２０１３」で、立川市は成年女子および少年男子バスケットボールの会場となっています。同祭に向けての準備が進む中、バスケットボール協会では、競技力向上等を図るために、ジュニア育成事業を開催しています。

今回で5回目を迎えるクリニックは9月12日(日)、第八中(男子)、第二中(女子)で行われ、男子9校、女子10校から約１００人が参加しました。

講師は、男子が国学院久我山高校の酒井良幸監督と部員、女子が実践学園高校の村松啓三コーチと部員の皆さんです。両校とも都大会優勝、準優勝の実績をもつ強豪であると同時に、立川市出身の中村拓貴君(キャプテン)、杉本武丸君(千葉国体都代表)、宮崎友

香子さん、福田陽香さんが活躍するチームです。

クリニックでは両校の先生の指導の下、部員がサポート。きめ細かい基礎練習の後は、ミニゲームでトップチームに挑みました。技術はもとより体格や声の大きさも違う高校生を相手に、果敢にシュートを狙っていきました。

中学生にとって身近な目標かつ憧れの高校生から直接指導を受けられたことは、大きな刺激となり、高校以降のバスケットボールを考えるきっかけづくりの一助となったことでしょう。

また「中学生選抜招待バスケットボール大会」を9月20日（祝）、柴崎市民体育館（男子）、第八中（女子）で開催。市内から選抜された選手40名が、昭島市など5市の選抜チームと対戦し、交流を深めました。

立川市空手道連盟 ジュニアスポーツ大会

空手道連盟　神場　武勝

平成二十二年八月一日（日曜日）立川市柴崎市民体育館にて、東京都のジュニア育生地域推進事業として立川市空手道連盟主管第四回立川ジュニアスポーツ空手道選手権大会を選手百十四名、役員、父兄約百五十名出席して開催致しました。

今回も小学一・二年の部、三・四年の部、五・六年の部、中学生の部　各三人のチームを作り団体戦で形、組手の試合を行いました。団体戦では個人戦で得られない協調性、団結心、責任感の育生が出来ました。

大会運営にあたり父兄の皆様に各コートの記録等お手伝い頂き、役員、父兄の相互理解を深めました。

当日は猛暑の中、子供達は日頃の鍛錬の結果を存分に発揮し元気に試合をしていました。

子供達の元気な姿を見て私たちも暑さに負けてはいられないなと感じました。

尚　今回はお忙しい中、河内会長にも出席頂き子供達へ直接お言葉を頂きました。

本大会で、子供達の技術の向上、礼儀、マナー、努力の必要性などが得られ、とても有意義な大会でした。

少年軟式野球連盟　中等部 平成22年度 夏季強化合宿を終えて

少年野球連盟　鶴渕　弘之

今年度も福島県白河市のグランドで3泊4日の夏季強化合宿を行いました。

練習ではあまり使うことの無い、スタンドとブルペンのある本球場ということで、練習をするには十分な場所で、天候にも恵まれ多少のにわか雨はあったものの十分練習ができました。

はじめに全体練習として、非常に暑かったため、水分補給等には十分注意を図りながらの基礎体力をつけるための、サーキットトレーニング2時間ほどを行いました。

日ごろ、炎天下で遊ぶことの少ない子供たちは、数名気分が悪くなった子もいましたが何とか練習についてきました。

全体練習後は、各学年別に分かれて、基礎から打撃までの練習を、十分な休憩を取りながら、午後6時まで行いました。

宿についてまず、風呂に入るわけですが、集団で風呂に入る機会の少ない子供が多く特に、思春期前の子供は、割と平気では入れるようですが、学年があがるにつれた恥ずかしさがますのか、最初のうちはかなり気にしていたように感じました。

この合宿では食事の準備も、宿にお願いして1年生が交代で行いました。まず、自宅では食事の準備はすることがない子が多いため、ご飯の盛り方、配膳をするときのご飯、汁の置き場所等から教えていきました。一人2回全員がまわるようにしました。

毎年のことですが、好き嫌いが多く特に1年生は非常に食事に時間がかかりました。

夜は、各学年ごとに3年生は、進学について、2年生は今後の練習に取り組む姿勢、1年生は礼儀、野球についての初歩的なこと等をミーティングしました。翌朝は恒例の早朝マラソン等を行い全工程を病人、けが人を出すことなく終えることができました。

毎年感じることですが、平均して体格も過去の子供に比べると小さく体力は落ちているように感じました。

最近は他のスポーツも盛んになり、野球だけではなくなったことが大きな要因だとは思いますが、今後の野球人気をもう一度盛り上げ、オリンピック等の正式種目復活などを目標に当協会も現代の子供にあった練習方法等を今後も考えながら運営していきたいと考えています。

中学生テニス（硬式）教室 無時終了！

テニス連盟　橋本　幸雄

東京都ジュニア育成地域推進事業の支援で、7月17日（土）～8月21日（土）全6回のテニス教室を開催。参加者は41名。参加費1500円。（従来までは、3000円）第1・3・5回の教室では、特別講師として公認上級コーチ・東京都テニス協会ジュニア委員会副委員長中村吉人氏を迎えた。初心者が多数を占める生徒に、分かり易い指導方法と実技を披露してもらえた。異常といえる酷暑で何人かは軽い熱中症でダウンした生徒がでた。バックアップ体制を整えていたため、無時乗り切れた。

本教室の成果は、秋の市民大会に中学生男女合計153名が参加して大会を盛り上げてくれた。参加者募集には、「広報」「中学校校長及び指導講師へのレター」及び「マイテレビによる募集お知ら」等、皆様の協力で無事終了できました。関係者に、感謝・感謝・

役員名簿

顧問 荻野芳廣
金子劭一
鍔本昌弘
相談役 遠藤佐吉
山崎省次
市川智庸
大澤敏夫
林聖二
監査 橋本直樹
穂積勤
会長 河内勝正
副会長 高橋栄
岡崎誠
澤部範儀
坂下香澄
専務理事 堤保有
常務理事 鶴澤章
会計 弓場嘉久
総務部長 福島美由紀
〃副部長 横井有江
五十嵐治
総務部員 森島保
福島恒樹
渡部保志
向江隆次
伊藤道子
伊藤栄一郎
指導部長 谷口信彦
〃副部長 神場武勝
指導部員 青木達也
渡辺修一
三浦光昭
桜井優子
浅沼咲子
白倉良一
伊藤潔
土方一成
関根卓
河西信祐
石田守
事業部長 仲野輝昭
〃副部長 大村勇三
〃部員 藤原宣幸
須﨑久吉
岩渕定明
中村清
瀬戸明宏
小林康
宮鍋武夫
上村香
広報部長 木戸口辰雄
〃副部長 浅見義明
〃部員 原訓子
菅沼洋
浜野智広
鈴木淑巨
三浦芳博
スポーツ少年団部長 石川敏浩
〃副部長 岡崎誠
〃部員 經廣経止
岡嵜幸平
鈴木一
堤久代
苅田直治
堺繁太
松井雄四郎
事務局 浅子倖代

加盟団体

〈地区体育会会長〉
富士見町 石田守
柴崎町 中村清
錦町 永島康雄
曙町 加藤哲
高松町 高橋栄
羽衣町 遠藤佐吉
砂川 関貞二
栄町 細野績夫
若葉町 尾崎精一
西砂川地区 鳴島勇三
幸町 山﨑美弘
柏町 岩渕定明

〈競技団体会長〉
陸上競技協会 井上克己
野球協会 清水孝治
バレーボール連盟 武石成文
卓球連盟 安藤喜朗
ソフトテニス連盟 林聖二
弓道会 石坂進勇
柔道連盟 伊藤満雄
剣道連盟 平山一二
スキー連盟 府中義則
相撲連盟 浜田和郎
バドミントン協会 馬場克久
山岳連盟 澤部範儀
ソフトボール連盟 戸所辰雄
水泳協会 森田孝二
クレー射撃協会 伊藤潔
空手道連盟 須﨑八朗
バスケットボール協会 鈴木淑巨
健康体操連盟 横井有江
サッカー協会 岡部直士
テニス連盟 橋本幸雄
合気道会 向江隆次
ゲートボール協会 矢野琁岳
武術太極拳連盟 苅田直治
ダンス連盟 稲田義四千
ミニテニス協会 小川友一
ゴルフ協会 関孝和
トライアスロン協会 浅見義明
新体操連盟 五明みさ子
吹矢レクリエーション協会 河西信祐
自転車競技連盟 関根吉雄

平成二三年度 賛助会員募集中 たちかわのスポーツ振興にご協力を

個人会員 一口 一、〇〇〇円 何口でも可
団体会員 一口 五、〇〇〇円 〃
振込口座 多摩信用金庫幸町支店／普通預金 0131672
特定非営利活動法人立川市体育協会（トクヒ）タチカワシタイイクキョウカイ
記
皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てています。

NPO法人 立川市体育協会

傷害保険 賠償責任保険 共済見舞金
より便利に より安心に!!
保険内容を改定しました
スポーツ安全保険
5+ 5名以上の団体でご加入ください
対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故
保険期間 平成21年4月1日午前0時より平成22年3月31日午後12時まで（申込受付は平成21年3月から）
加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

加入対象者		補償対象となる団体活動等	加入区分	年間掛金（一人当たり）	傷害保険金額 死亡	後遺障害（最高）	入院（日額）	通院（日額）	賠償責任保険 てん補限度額（免責金額なし）	共済見舞金
子ども（中学生以下（特別支援学校高等部の生徒を含む。））		団体活動全般（スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など）	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死（急性心不全 脳内出血など） 180万円
		団体活動全般	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	
					日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様					
		上記以外（個人活動・個人練習など）			100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象となりません
					日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。					
大人	高校生以上	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死（急性心不全 脳内出血など） 180万円
		スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
		子どものスポーツ活動の指導限定 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢		危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※掛金には(財)スポーツ安全協会で運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。
インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 Web スポーツ安全協会 検索
財団法人スポーツ安全協会 東京都支部
（東京都体育協会内）
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内 TEL 03-3481-2423 電話受付時間:午前10時～午後5時(土、日、祝日を除く。)